

令和4年度学修成果の達成状況等調査結果

川崎医療短期大学 教務委員会

I. 調査時期、対象者数

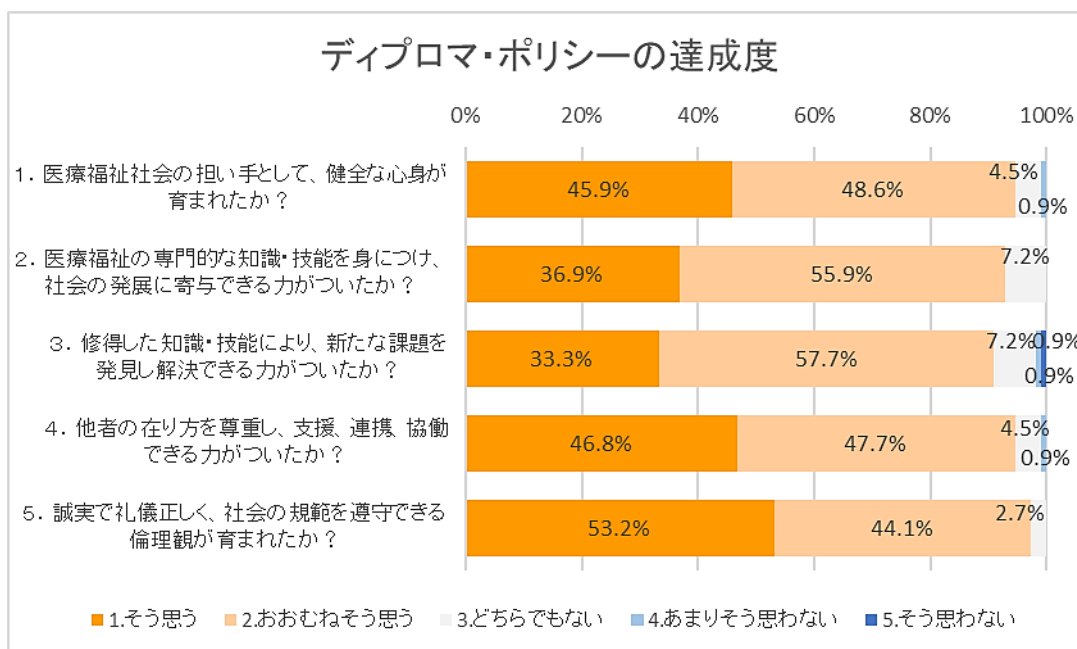
1. 調査時期：令和5年1月下旬～2月上旬
2. 対象者：令和4年度在学学生（休学者を除く令和5年1月1日に在学している者）とした。
回収率は、3年次生（卒業予定者）94.9%（111名/117名）、1年次生78.0%（99名/127名）、2・3年次生（卒業予定者を除く）91.4%（138名/151名）であった。

II. アンケート結果および分析

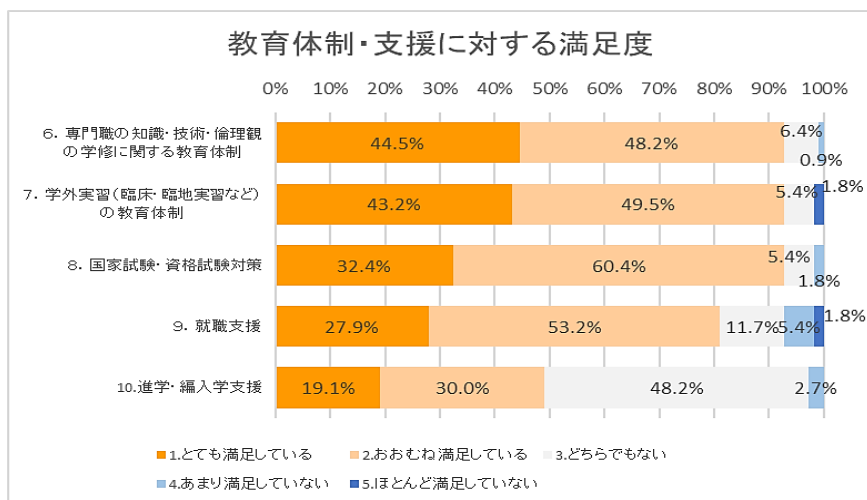
1. 3年次生（卒業予定者）対象調査

令和4年度(2022年)は、医療介護福祉学科が2年制から3年制への移行により卒業生がいないため、看護学科の卒業生のみが調査対象であった。ディプロマ・ポリシーの達成度は、構成する5つの方針に関して〔そう思う〕〔おおむねそう思う〕と答えた学生は、90%を超えており、例年に比べて高い結果となった。特に、「誠実で礼儀正しく、社会の規範を遵守できる倫理観が育まれた」は97%と高かった。また、社会人基礎力自己評価では、14項目中11項目で80%以上の学生が、〔大きく増えた〕〔増えた〕と答えている。昨年と比較すると「他の人と協働して物事を行う能力」「人間関係を構築する能力」「一般的な教養」が〔増えた〕と答えた学生が多く、逆に昨年高かった「コンピューターの操作能力」「グローバルな問題の理解」「プレゼンテーションの能力」は〔変化なし〕が多かった。

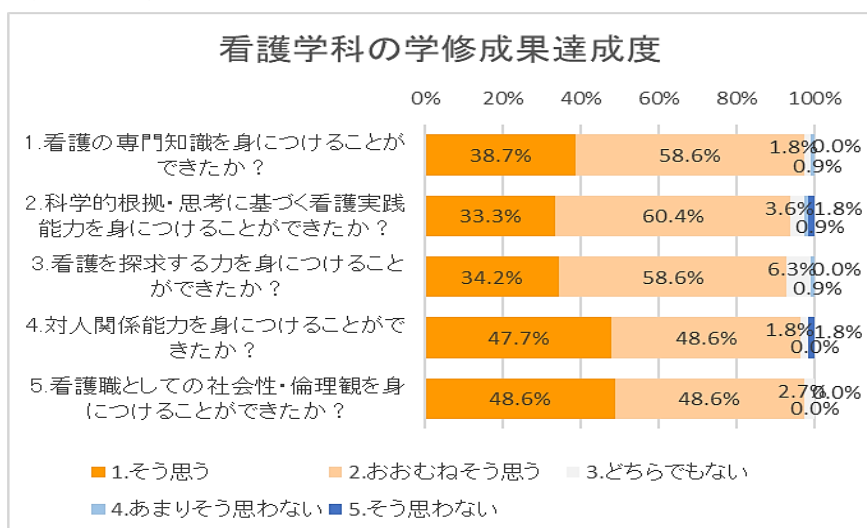
1) 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）達成度



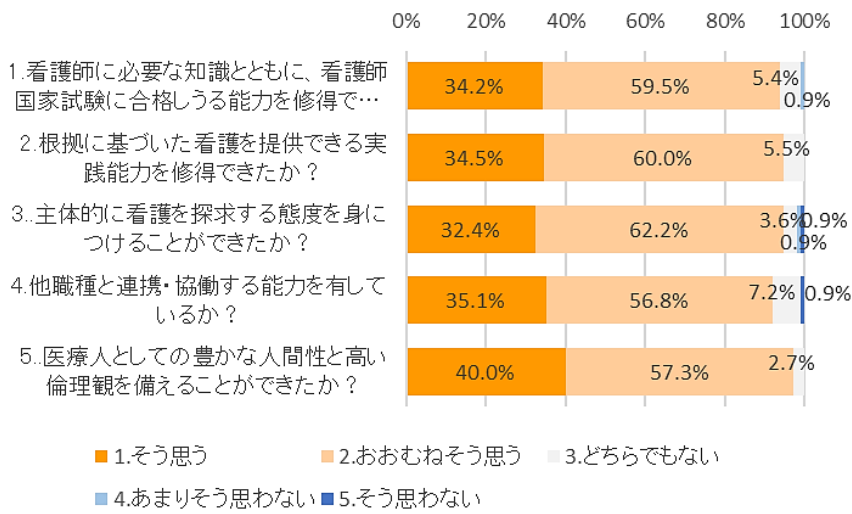
2) 教育体制に関する満足度



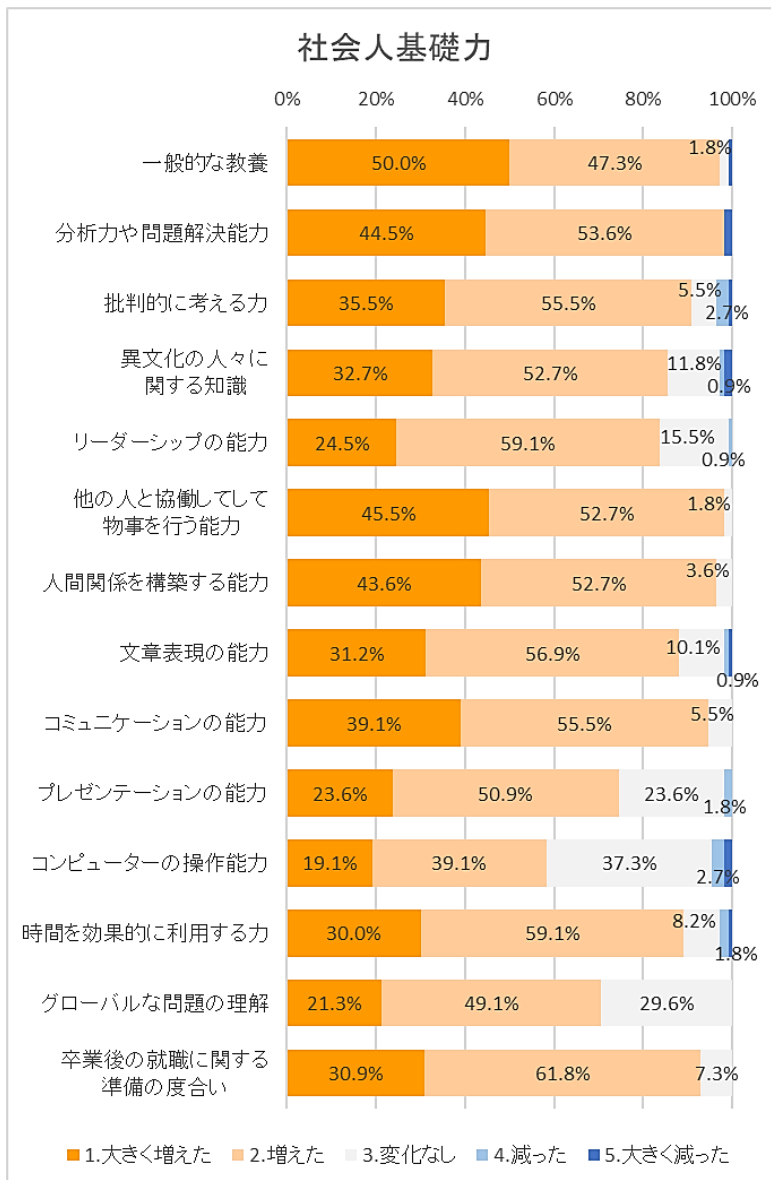
3) 学科の学修成果および学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）達成度（看護学科）



看護学科のディプロマ・ポリシー達成度



4) 社会人基礎力自己評価



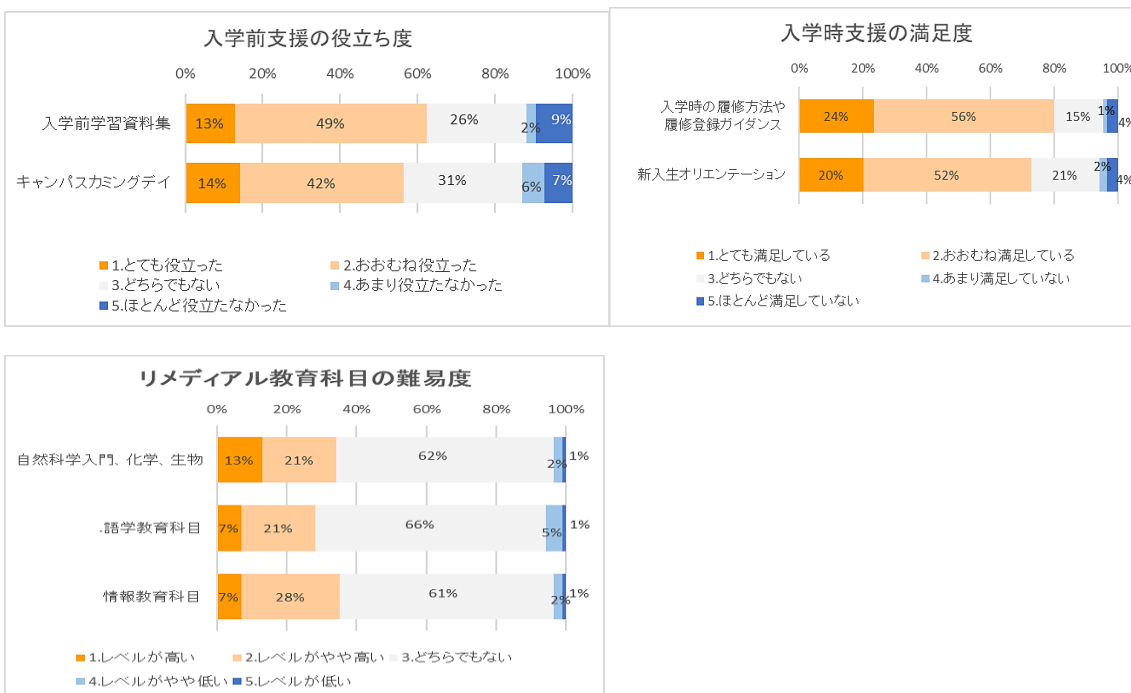
2. 教育体制・支援に関する項目

教育体制に関しては80%～90%が〔とても満足している〕〔満足している〕と答えている。

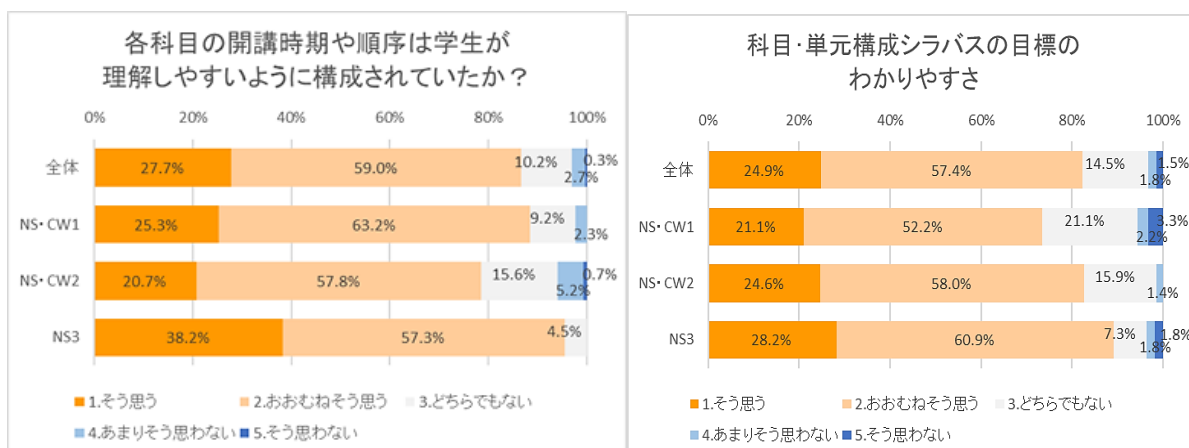
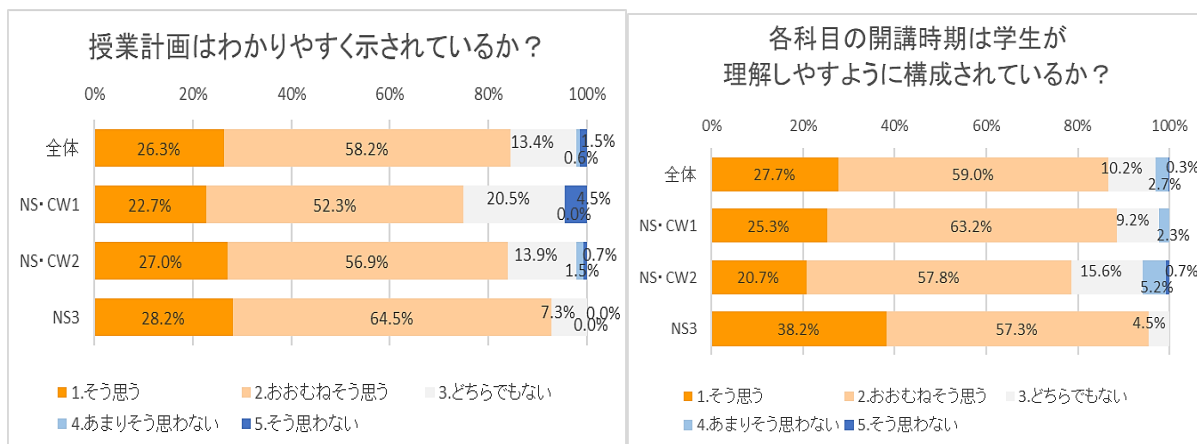
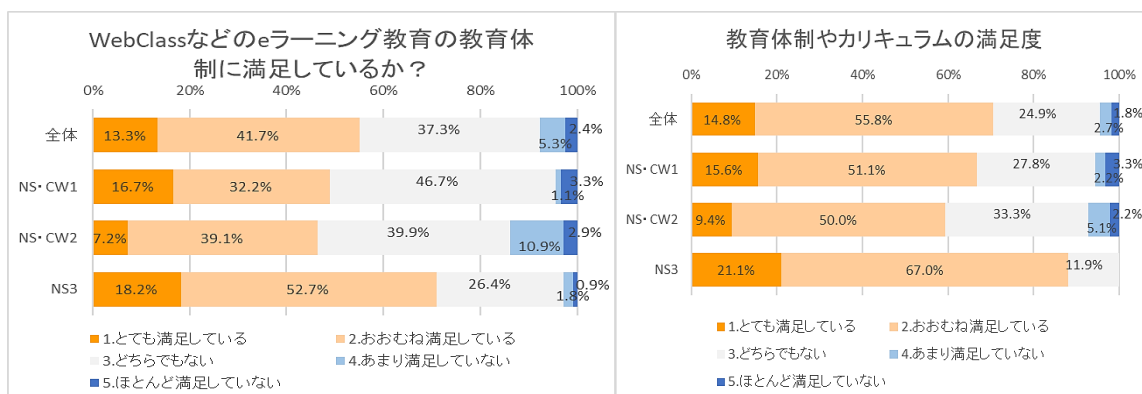
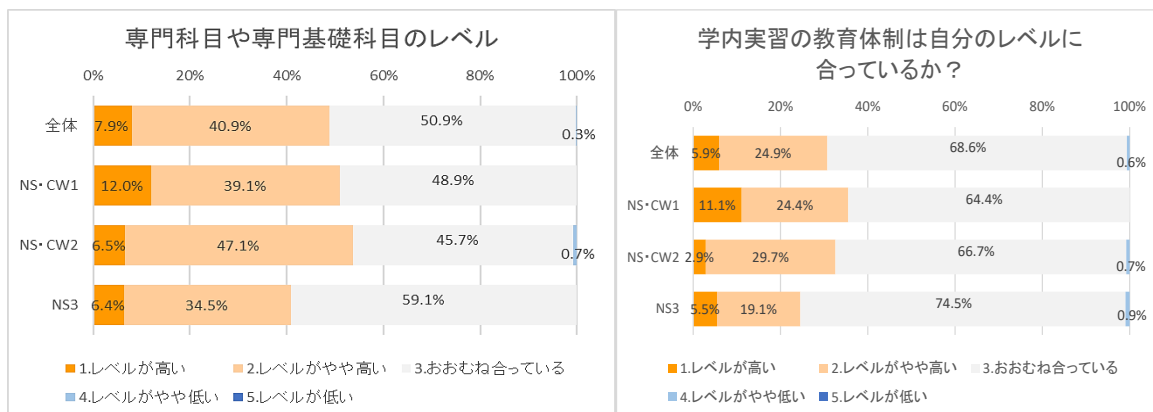
1年次科目の「数学、化学、生物などの科目」「情報教育科目」「語学教育科目」が自分のレベルに合っていると答えたのは50%であった。これらのリメディアル教育の科目は、昨年は〔レベルが高い〕と答えた学生が50%であったのに対して30%と改善されている。

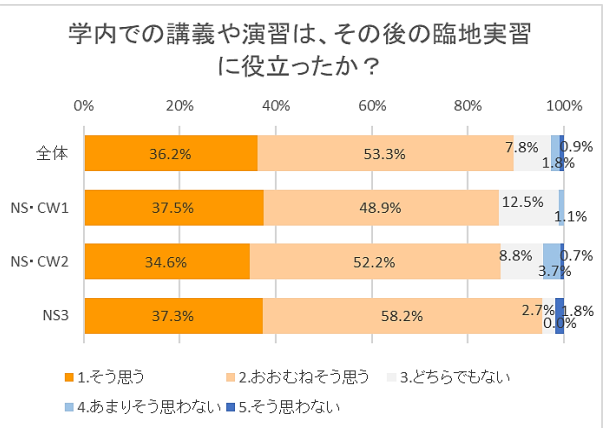
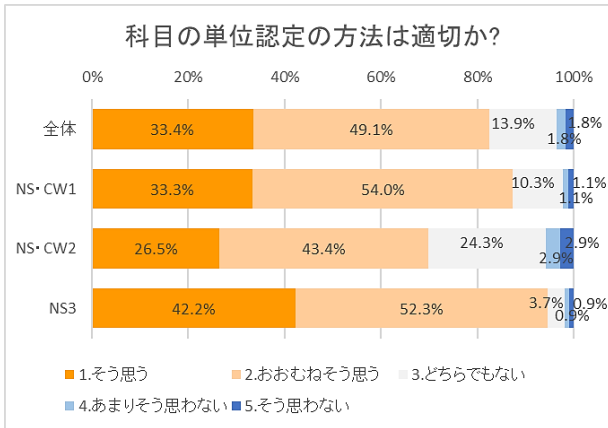
全学年共通項目での教育体制に関しては、令和4年度はMoodleからWeb Classへの移行期でもあり、基礎学力支援、e-ラーニング教育に関しては、使い慣れたMoodleから、全く違うシステムであるWeb Classを使わなければならない、e-ラーニング教育等への満足度は低かったと考える。シラバスに関しては、80%の学生が〔わかりやすい〕と答えた。また、各科目の開講時期や順序性や構成は学生が理解しやすいように構成されていたと答えている。学内での講義や演習はその後の臨地実習で役立ったと答えた学生も90%近くおり、カリキュラムの構成は学生にとっては効果的であるとする。看護学科、医療介護福祉学科ともに新カリキュラム完成年度に向けて、継続して検証していく。

1) 1年次生対象の教育体制に関する満足度（入学前支援、入学時支援、基礎分野科目）



2) 全学年対象の教育体制に関する満足度（専門基礎分野・専門分野、教育体制）





3) 学修時間調査

学修時間調査では、平均的な1週間での学修時間が1～2時間が30%と最も多いが、4時間以上/日と答えた学生も16%おり、日頃からの学修への取り組み状況が明らかとなった。シラバス等で事前学修や事後学修時間の指示がされていることから、今後も Web Class 等を使用した学修時間の確保を進めていく必要がある。

